

教 育 方 針	・真理と正義を愛し、学習に励み、人格の完成に努力する人材を育成する。
	・心身ともに健康で、自他を敬愛する実践力のある人材を育てる。
	・勤労を尊び、責任と礼節を重んじ、明るい社会の建設に役立つ誠実な人材を育成する。
	・生涯学習講座の充実を通して、県民のニーズに応える。

評 価(4段階) . . . 4 : 十分に達成できている 3 : おおむね達成できている
 2 : どちらかという達成できていない 1 : ほとんど達成できていない

1. 教育目標		評 価		
		前 期	後 期	総 合
教 育 目 標	○中央魂の継承 ・不撓不屈の中央魂の継承と発揚に努める。 ・共に学び合う環境づくりに努め、困難を克服して学ぶことに自覚と誇りを持たせる。 ・立番指導を計画的に行い、禁煙、土足防止、言葉遣い等、基本的な生活マナーを確立する。 ・郷土を愛し地域に感謝して、進んで社会に貢献しようとする豊かな心を育成する。	3.0	3.0	3.0
	○基礎学力の定着 ・生徒状況を的確に把握し、生徒の実態に即した学習指導並びに進路指導の充実に努める。 ・担任の電話連絡、レポート添削の助言、広報活動を強化して、単位修得率の向上を図る。 ・教務内規をはじめとする諸規定を見直し整理して全職員の共通理解を図る。	3.1	3.0	3.0
	○通信制の特色づくり ・学校行事を通して自己の再発見を促し、お互いの交流の中で社会性を身につけさせる。 ・人に奉仕する喜びを感じる生徒会活動を展開する中で、サポーターとしてより多くの口 生徒を参加させ、人に寄与する経験により、自尊感情を高めさせる。 ・定通大会及び生活体験発表の取組を強化して、働きながら学ぶ通信制の誇りと連帯を深 める。 ・学校説明会、入学説明会を計画的に実施して、通信制のシステムへの事前理解を強化す る。	3.3	3.2	3.2
	○特別支援教育等の充実 ・個別面談を計画的に実施し、生徒・家庭・仕事の問題状況を把握し、生徒支援に努める。 ・特別支援委員会を定期的に関き、多様化する生徒情報を共有して全職員で指導に当たる。 ・職員研修を効果的に実施して、多様な問題に対応できる生徒指導力の向上を図る。 ・検尿、内科検診、X線、心電図等の受診率を上げて、生徒の健康づくりに努める。 ・スクールカウンセラー、特別支援学校及び関係機関との連携を強化する。	3.1	3.1	3.1
	○教育環境の整備充実と安全対策 ・コンピュータによる生徒の出席・レポート及び成績データの管理システムを確立する。 ・施設設備の整備・充実を図り、生徒が安全に生活できる教育環境作りに努める。 ・緊急時に迅速かつ適切に対応できるように、安全管理マニュアルの整備を行う。 ・情報セキュリティ対策管理要項を遵守し、個人情報の漏洩を徹底して防御する。	3.3	3.3	3.3

2. 教育活動		前 期	後 期	総 合
教科指導	・生徒の計画的なスクーリング参加と自宅学習の手助けとなるようなスクーリング指導計画と内容の検討を行う。	3.2	3.3	3.3
	・教科書と学習書を利用しながら自宅でのレポート学習ができるようなレポート内容の検討と作成を行う。	3.3	3.2	3.2

3. 校務分掌		前 期	後 期	総 合
教 務 部	・新学習指導要領に対応した教育課程の編成と時間割等の整備に努める。	3.3	3.4	3.3
	・個々の生徒の履修状況と学習状況把握による的確な指導体制の充実に努める。	3.2	3.4	
	・入学説明会を充実させ、通信制システムへの事前理解を強化する。	3.4	3.6	
	・通信必携の整備とその周知徹底に努める。	3.0	3.3	
進路学習部	・レポートの提出期限の遵守と正しい提出の仕方ができるように指導を徹底する。	3.1	3.3	3.2
	・コンピュータによる出席・レポート管理のスムーズな運営を図る。	3.4	3.5	
	・情報発信に努め、各学年と連携し進路指導の充実を図る。	2.9	2.8	

		評 価		
		前 期	後 期	総 合
教育相談部	・スクールカウンセラー制度の効率的な利用を促進する。	2.8	2.8	2.9
	・教育相談委員会（特別支援委員会）の充実を図る。	2.8	2.9	
	・生徒の個人情報の窓口として、総括と整理に努める。	2.9	3.1	
生徒指導部	・基本的生活習慣の向上を目指す。	2.9	3.0	3.1
	・生徒指導部・学年などで連携をとりながら指導に努める。	3.0	3.2	
	・生徒会執行部の自主的な取り組みを促す。	3.3	3.3	
	・行事内容の充実と広報活動の活発化をはかり、行事への積極的な参加を促す。	3.2	3.0	
保 健 部	・自己の健康状況等を把握し、健康で安全な生活ができる習慣・自己管理能力を育て、支援する。	3.1	2.9	3.0
	・学校環境衛生の管理に努め、美化意識を向上させる。	2.9	3.1	
	・施設・設備の安全管理に努める。	2.9	3.1	

4. 学年経営

1 年 次	・通信制のシステムを周知させる。	2.9	2.9	2.9
	・高校生としての自覚を持たせ、責任ある行動をとることができるようにする。	2.9	2.9	
	・学習意欲の向上を図り、進級意識を高めさせる。	2.8	2.9	
	・学校行事や生徒会活動への積極的な参加を促す。	2.9	2.6	
2 年 次	・中堅学年に所属するものとしての自覚を持たせ、学校全体を牽引する生徒の育成を図る。	3.0	2.8	3.0
	・更なる学習意欲の向上に努め、進級意識を高めさせる。	3.0	3.0	
	・学校行事や清掃などの活動に積極的な参加を促し、生徒一人ひとりの自主性及び協調性の育成を図る。	3.1	2.9	
3 年 次	・最終学年として、充実した学校生活を送る。	3.1	2.9	3.0
	・卒業を目指して最後まで努力をするように指導する。	3.0	3.1	
	・進路実現を目指す。	3.2	2.8	
	・各行事やHR活動などへ積極的に参加し、幅広い人間性と社会性を育てる。	3.0	2.7	

5. 教育環境

施設・設備の管理	・施設・設備の安全点検や補修を定期的に行う。	3.0	3.3	3.1
学校環境の整備	・面接日の清掃時間だけではなく、日頃から校内の環境美化に努める。	2.8	3.3	3.1
情報基盤の整備・充実	・パソコンによる校務処理を積極的に推進し、データの共有化を図る。	3.3	3.5	3.2
	・ホームページを定期的に更新し、学校情報の積極的発信に努める。	2.8	3.0	

6. 開かれた学校

地域や関連機関との連携	・近隣地域の高校・中学校・小学校との情報交換を積極的に行い、連携を強める。	2.4	2.7	2.8
	・充実した生涯学習講座の実現に努め、広く活動内容をPRする。	3.2	3.1	